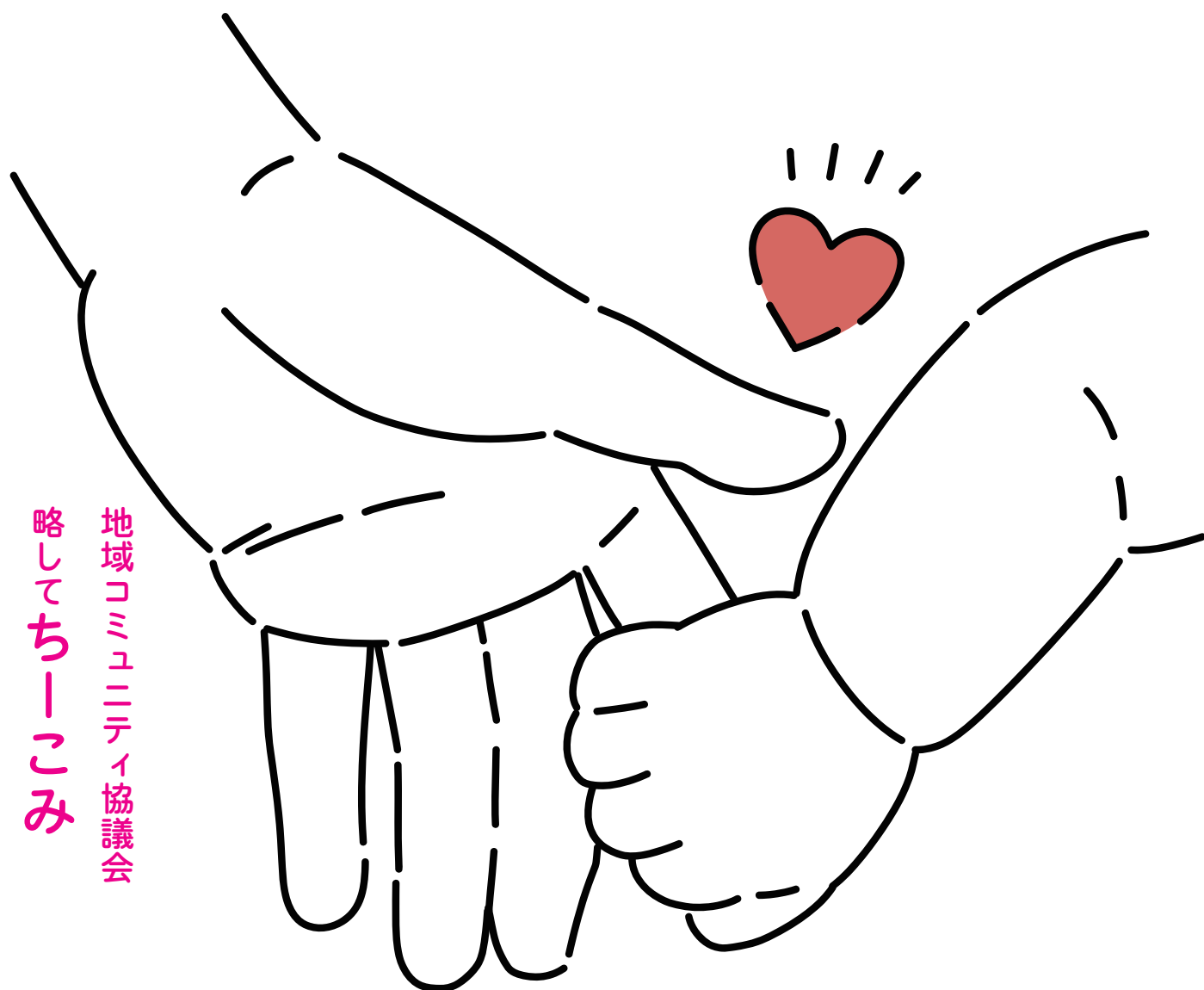




地域コミュニティ協議会
略してちーこみ

持続可能な 地域コミュニティの実現に向けた シンポジウム

期日：2025年12月6日(土) 10:00～

会場：常総市生涯学習センター 多目的ホール

主催：常総市

ごあいさつ

未来に繋げる地域づくりを目指して



本日は、本市主催の「持続可能な地域コミュニティの実現に向けたシンポジウム」にお越しいただき、誠にありがとうございます。

近年、人口減少・少子高齢化・核家族化など、社会情勢の変化や人々の価値観・生活様式の多様化に伴い、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。

本市においても、世帯構成の変化や地域活動への参加率の低下などに伴い、地域における連帯感が希薄化している傾向にある中、地域では防災・環境・子育てなどさまざまな場面で複雑化・多様化した課題が生まれているため、基本的な地域コミュニティである自治会や各団体をはじめ、行政サービスや施策のみでこれら地域の課題すべてに対応することは困難になりつつあります。

しかし、災害時、助け合えるのは家族であり、近所同士であることは間違いありません。近年、全国で頻発する大規模災害において、命を救うための大きな力になれるのは自衛隊や消防隊よりも家族や地域の人々だと言われています。10年前の鬼怒川決壊による大規模水害でも、私達は共助の大切さを痛感しました。

私が子供の頃、近所のおじいちゃん・おばあちゃん、おにいさん・おねえさんがいつも一緒に遊んでくれ、たくさんの思い出を作ってくれたものです。地域のお祭りやイベントに参加することが楽しみで仕方ありませんでした。

今こそ、我々大人が、子供達のために楽しい思い出をたくさん残してあげられる地域にしていきましょう。もう一度、みんなで助け合い絆が深まる地域を取り戻しましょう。そして、災害時に近所で助け合える関係性を築きましょう。

それが、持続可能な未来に繋がる地域づくりであると確信しています。本日のシンポジウムが、その一助になることを願ってやみません。

栗原市長
神田 昌弘

式次第

10 : 00 **主催者挨拶**

10 : 05 **基調講演**

神栖四中学区地域コミュニティ協議会
会長 樋口 義則 氏

10 : 35 **事例発表**

(1) 豊田地域コミュニティ協議会
(2) 菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会準備委員会

11 : 00 **パネルディスカッション**

テーマ ～地域の魅力眠っていませんか？
多様な人材と地域資源の活かし方～

パネルディスカッション ～登壇者紹介～



【ファシリテーター】

渡辺 裕一 氏

(武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授)

令和4年度より、市内各地域の意見交換会に講師として参加。当市における地域コミュニティ協議会の設立に向けて大きく貢献。



【パネリスト】

渡邊 多恵子 氏

(淑徳大学看護栄養学部看護学科 教授)

ファシリテーターの渡辺教授と同じく、令和4年度より、市内各地域の意見交換会に講師として参加。当市における地域コミュニティ協議会の設立に向けて大きく貢献。

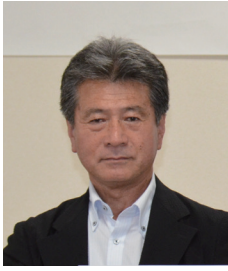


【パネリスト】

樋口 義則 氏

(神栖四中学区地域コミュニティ協議会 会長)

平成25年の設立以来、地域の学校と連携した交流活動や東日本大震災を機に防災に関する活動など、地域に根差した活動を一貫して継続。地域コミュニティ協議会での諸活動が認められ、茨城県教育会の教育功績者表彰をはじめ、協議会として受賞歴も多数。



【パネリスト】

石塚 正明 氏

(豊田地域コミュニティ協議会 会長)

今年6月8日に市内初の地域コミュニティ協議会として誕生した豊田地域コミュニティ協議会会長。6名の発起人の一人で、行政に頼らず会員を36名にまで増やした立役者。「誰一人取り残さない地域」をモットーに精力的に3部会の活動を推進。



【パネリスト】

松浦 海斗 氏

(筑波大学まちづくり学生団体 かざぐるま 代表)

筑波大学院システム情報工学研究群修士2年。都市計画を専門とし、交通や教育などに関する都市の課題を幅広く研究。2021年に、まちづくり学生団体「かざぐるま」を設立し、つくば市や周辺自治体にて、大学生と地域住民の協働によるまちづくりを実践。



【パネリスト】

橋本 カミラ 氏

(市立中学校日本語指導支援員)

ブラジル・サンパウロ出身。3歳で来日し、以来常総市に在住。大学卒業後、母校で外国にルーツを持つ生徒を支援する傍ら、多文化共生についての理解を深めるための講座を実施。ポルトガル語、スペイン語、英語、日本語を駆使し、市内の外国人住民と日本人住民の架け橋となり、文化の違いを理解し助け合う重要性を説く。



【パネリスト】

神達 岳志 市長

10年前の関東・東北豪雨水害を機に、茨城県議会議員から常総市長に。現在3期目。「さらなる防災先進都市」のほか「子どもまんなかまちづくり常総」「未来に繋げる地域づくり」などを推進。地域の絆の重要性は、市長就任から一貫して訴え続ける。

12:00

閉会

～地域と学校の協創が生み出すまちづくり～

地域コミュニティ協議会が果たす役割と実践事例

令和7年12月6日（土）

会 場；常総市生涯学習センター



©神栖市

発表者

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

会 長 樋口 義則

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

1

1. 神栖四中学区地域コミュニティ協議会の紹介

◇地域の紹介

神栖市の北西部に位置し、鹿島開発により造成、整備された市街地に商業、住宅地が広がる。
地域内には高速バス乗り場、東国三社の一つである息栖神社、かみす防災アリーナなどがある。
神栖市の玄関口、中心市街地である。

◇活動地域、

- ・「神栖第四中学校」を学校区とする、8地区を活動地域とする。
- ・地域内には神栖第四中学校、大野原小学校、大野原西小学校の3つの学校がある。

◇コミュニティ協議会の構成員数

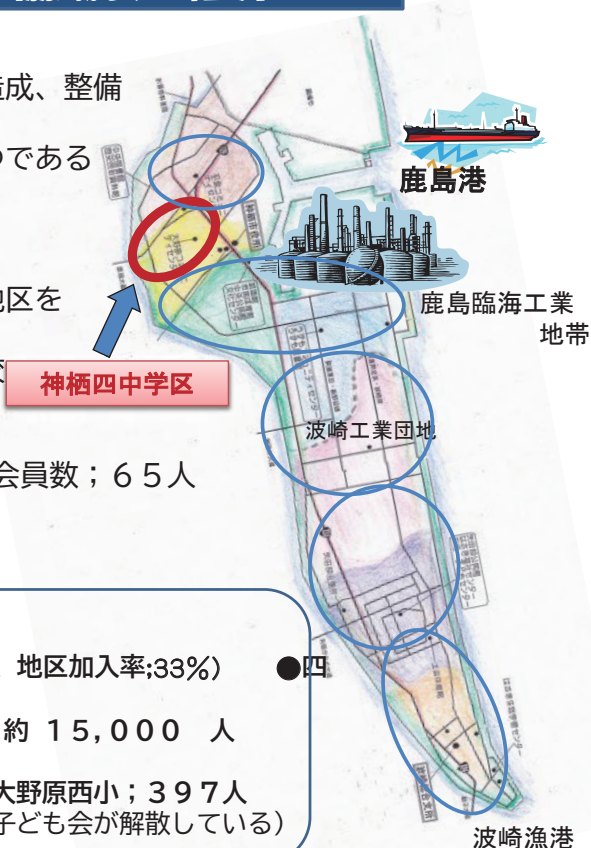
8地区の各種団体と公募会員で構成 登録会員数；65人

◇設立年 平成25年9月20日

◇運営費 市補助金、賛助金

参考データ（R7年4月）

- 神栖市世帯数；人口；93,466人、44,964世帯、地区加入率;33%)
中学区の地域の人口・世帯数（令和5年）
 - ・8地区世帯数；約7,000 世帯、人口；約15,000 人
- 児童生徒数；1,380人
神栖四中；427人、大野原小；556人、大野原西小；397人
- 子ども会；7地区に5つの子ども会（5つの子ども会が解散している）



神栖四中学区地域コミュニティ協議会

2

2. 神栖四中学区地域コミュニティ協議会について

①コミュニティ協議会設立の目的

- ◇現代社会は生活様式や生活意識の多様化に伴って、**隣近所のつながりや地域の連帯感が希薄化**したことで、環境、防犯、防災、交通災害、子育てなど**日常の様々な問題が発生**してきた。こうした問題に対処していくには**住民相互が理解し合い、自らの問題として自主的に取り組み解決**することが重要、とのことから、**地域コミュニティ協議会の必要性が認識**された。
特に、**東日本大震災を契機に、よりコミュニティの重要性が一層深く認識**された。
- ◇平成25年、モデル地区小学校区として「**大野原小学校地域コミュニティ協議会**」を設立した。

②協議会の役割(活動)

- ◇**地域の身近な問題や課題**について、解決策を検討し、**解決**するための活動を行う。
- ◇地域の人たちが気軽に参加できる、様々なイベントなどを実施し、**地域のつながりを深め、助け合い(共助の社会)のできるコミュニティの醸成**を図る。
- ◇行政区をはじめ、既存団体とが情報交換、共有し合い、連携して、**住みよい地域コミュニティの構築**を目指す。
- ◇**市民協働のまちづくり**として、**住民の立場から行政との意見交換や提案など**、コミュニティ協議会として積極的に**発信**する。
- ◇**地域と学校が連携して「郷土を愛する、豊かな心をもつ子どもたちの育成」**に取り組む。



3. 神栖四中学区地域コミュニティ協議会の沿革

平成20年 8月	神栖市まちづくり推進協議会設置される(2年間) ⇒市民によるまちづくりの実践を行う団体の設置を目的とする
平成22年 5月	「地域コミュニティ協議会」についての報告書が提出される ⇒地域の課題を地域住民が考え解決していく組織
平成23年 1月 3月11日	神栖市地域コミュニティ協議会設置検討委員会が設置される ※ 東日本大震災が発生 ⇒改めて地域コミュニティの必要性が認識される
平成24年 2月 12月19日	「地域コミュニティ協議会について」の提言書が提出される ⇒神栖市の全小学校区(15)に地域コミュニティ協議会の設置を提言 モデル地区の第1候補に「大野原小学校区」がなる 大野原小学校区の地域への団体へ個別説明会を実施
平成25年 2月～ 8月 7日 8月29日 9月12日	大野原小学校区内の各団体代表者へ必要性について全体説明を行う 立ち上げについて全体説明会を行い承認を得る ワークショップを開催し活動内容、役員人事等を協議決定 臨時総会を開催 規約、役員選出等を決定
平成25年9月20日	大野原小学校区地域コミュニティ協議会が発足する
平成30年 3月 5月～ 12月1日	大野原コミセンとコミュニティ協議会の統合化案が提案される 統合準備委員会を設置し統合化について協議 コミ協、コミセン役員会及び臨時総会にて統合化が承認される
平成31年4月20日	コミセン統合化と活動地域を大野原西小学校区へも拡大「 神栖四中学区地域コミュニティ協議会 」としてスタートする

4. 神栖四中学区地域コミュニティ協議会の理念

<基本理念>

みんなで力を合わせて 豊かな文化と
 ところを育み 住みよい誇れるまちづくり

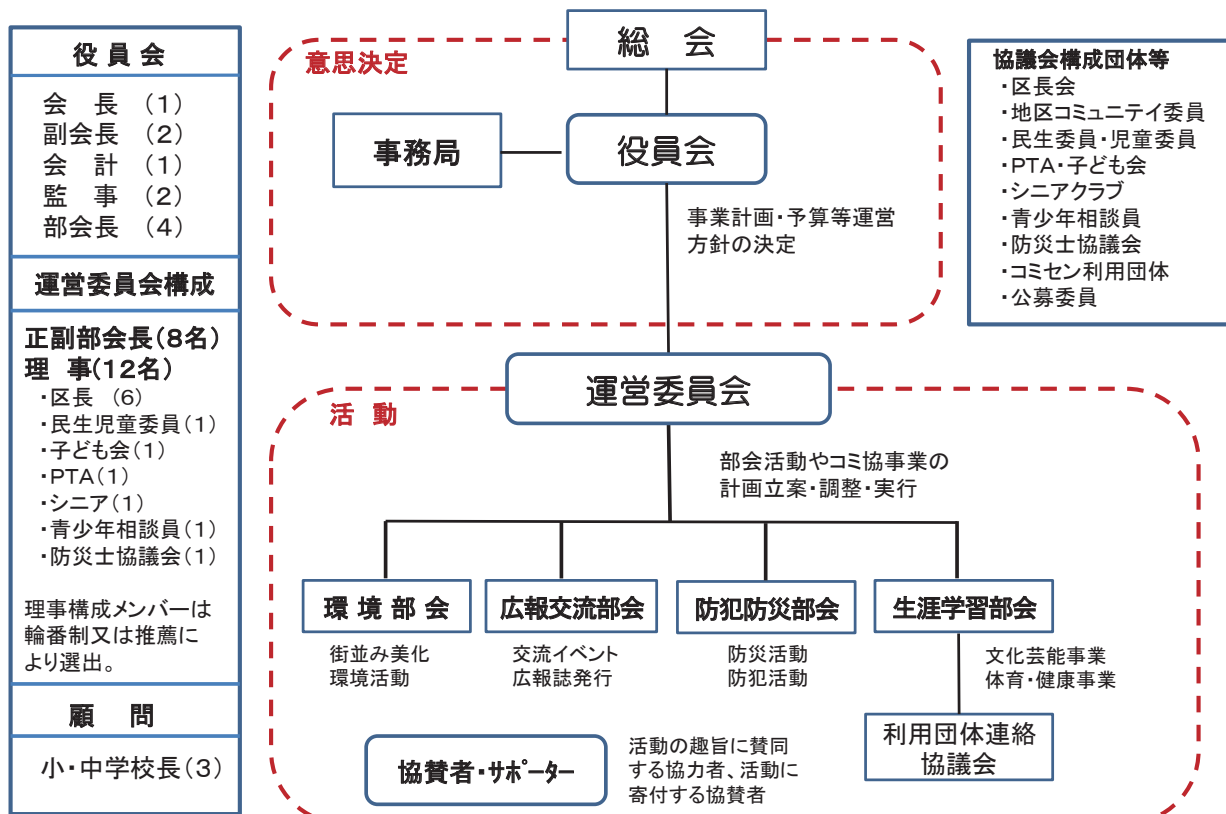
基本理念の考え方

これまで各地域の住民・組織・団体が自主的に取り組んできた活動を基盤に、地域の枠を超えてすべての人々が連繋・強調し合い、市と協働して活動を具体的に推進することにより、コミュニティとしての地域活動の充実と地域力を向上させることを神栖四中学区地域コミュニティ協議会の基本とする。

<四つの目標>

- 笑顔でしんせつ、心豊かなまちづくりを目指します。
 ※人にやさしく、笑顔であいさつのできる明るく楽しい地域づくり
- 一番キレイな地域を目指します。
 ※ごみのない、きれいな街並み、美化環境・地域づくり
- 声をかけあって、安全・安心なまちづくりを目指します。
 ※みんながルールを守り、思いやりをもって見守る地域づくり
- みんながつながり、助け合えるまちづくりを目指します。
 ※みんなで支え合い、協力し合って暮らせる、安心・安全な地域づくり

5. 神栖四中学区地域コミュニティ協議会組織図



6. 神栖四中学区地域コミュニティ協議会 部会の構成と活動

部会の構成団体と活動内容

部会名	部会の主構成団体	部会の活動内容
環境部会	シニアクラブ 地区コミュニティ委員 公募委員など	地域の環境美化活動、学校の清掃活動やフラワーロードの花植えなど、美しいまちづくり、環境美化に関わる活動全般について取り組みます。
防犯防災部会	地区区長 民生児童委員 青少年相談員 公募委員 防災士協議会 地区コミュニティ委員	毎月1回、朝のあいさつ、見守り活動を実施。通学路の安全点検や交通安全マナーアップ（体験）を適宜実施します。年1回防災訓練、防災資機材訓練など地域防災力向上に関する活動を担当します。
広報交流部会	各校PTA、子ども会、学校関係 公募委員など	春夏のお楽しみ会などの地域交流イベントの企画立案実行を担当するほか、協議会広報誌「コミ協だより」を2回／年発行し、コミュニティ協議会の活動内容を地域や学校等に情報発信をします。
生涯学習部会	コミセン利用団体 公募委員 スポーツ推進委員など	生涯学習ふれあいまつり芸能発表会やコミセン利用団体によるスポーツ大会、シニア世代交流輪投げ大会など地域及びコミュニティセンターの利用団体に関する活動を担当します。
役員会	（役員・部会）	外部から講師を招いて、コミュニティ醸成及び防災に関する講演会や勉強会等を開催。交通安全標語コンクールの表彰（小中学校）や夏休みラジオ体操を開催。コミ協活動の活性化として適宜サロンの開催も行います。

※ 公募委員；協議会に賛同する会員

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

7

7. 神栖四中学区地域コミュニティ協議会 年間活動計画

主体	活動項目	活動内容	活動；実施時期・頻度・場
役員会	役員会議・運営委員会	・活動計画の検討や実践活動などコミ協運営について協議	役員会議3回・運営委員会3回／年
	講演会・勉強会	・防災やコミュニティに関する講演会（地域力・防災力の向上など）	1回／年（3月）大野原コミセン
	夏休みラジオ体操	・ラジオ体操で新学期への生活リズムの整えと親子の交流	8月25日～31日 7時・小学校
	交通安全標語コンクール	・交通安全標語の募集と優秀作品の表彰、横断幕の制作、啓発活動	1回／年（11～12月）各小中学校
	コミ協サロン	・地域・コミ協の課題解決と新たな活動のアイデア発掘	適宜開催（過去3回実施）
環境部会	部会会議	・部会活動についての協議	会議；6～7回／年、大野原コミセン
	学校清掃・街並み美化	・大野原小、大野原西小、神栖四中学校の清掃、街並み美化活動	1校／年、3校輪番制で清掃活動
	フラワーロード花植え	・中央公園前フラワーロードの花植え奉仕	2回／年（春・秋）9時～中央公園前
防犯防災部会	部会会議	・部会活動についての協議	会議；6～7回／年、大野原コミセン
	あいさつ・見守り活動	・大野原小、大野原西小で あいさつ運動・登下校見守り活動	1回／月（第3月曜日）7時/14時30分
	通学路安全点検 児童交通安全マナーアップ運動	・大野原小、大野原西小通学路安全点検、交通マナーアップ体験	不定期（H25年から4回実施）
	防災訓練・資機材取扱訓練	・防災資機材点検と防災訓練（救急訓練・消火訓練・AED訓練・煙体験など）	1回／年（11月上旬）
広報交流部会	部会会議	・部会活動についての協議	会議；6～7回／年、大野原コミセン
	地域交流・世代間交流イベント（お楽しみ会）	・夏のお楽しみ会（児童・生徒と地域・学校・子ども会による地域交流） ・春のお楽しみ会（昔遊びやゲームを通して児童・生徒と世代間交流）	夏（8月下旬）、大野原コミセン 冬・春（1月下旬）大野原コミセン
	広報誌発行	・情報誌（コミ協だより）の発行（A3判両面刷）、活動ニュース発行	発行；2回／年（9月/3月）2,300部
生涯学習部会	部会会議・利用団体者会議	・部会活動についての協議、利用団体との調整会議	会議；2～3回／年、大野原コミセン
	スポーツ大会	・コミュニティセンター利用者団体間の交流スポーツ大会	1回／年（6,7月）大野原コミセン
	輪投げ大会	・シニア世代地域交流輪投げ大会	1回／年（10月）大野原コミセン
	芸能発表会	・生涯学習ふれあいまつり（コミセン利用団体の成果発表会）	1回／年（2月）大野原コミセン
	環境美化活動	・コミュニティセンター利用団体による施設の美化清掃	2回／年（9月/3月）コミ協施設

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

8

地域コミュニティ協議会 活動事例の紹介

◇ 活動紹介 【役員会】 夏休みラジオ体操



ラジオ体操は、2学期への生活リズムの整えを目的として、夏休み後半の1週間ラジオ体操を通して児童生徒、親子が地域の方との交流を行います。

- 2014年大野原小学校で始める。
毎年参加者は増加傾向にある。親子での参加が増加している。（参加者実績；60人～80人／日）
当初は学校は場所の提供のみであったが、近年では先生の参加も多くなっている。児童の夏休みの思い出づくりとしても効果的な活動となっている。
- 2020、2021年はコロナ禍で中止
- 2022年大野原西小学校でもラジオ体操を始める



カードにハンコを押します



ラジオ体操最終日の集合写真

◇ 活動紹介 【役員会】

小学校生活科授業協力

コミ協では小学校が行う、学校生活を支えている地域の人々と児童生徒の関りを見つける生活科学習授業にコミ協が協力しています。

通学路の探検や学校探検を通して楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校したりできるようにする。また昔から伝わる遊びを見せてもらったり、教えてもらったり、楽しく遊んで交流する。社会教育授業やあいさつ運動、見守り活動を通して、児童がコミ協会員を身近に感じたり親しむようになったりすることで児童の発達育成に効果があると感じる。



生活科学習（まちなか探検）



昔遊び交流会



神栖四中学区地域コミュニティ協議会

11

◇ 活動紹介 【役員会】

講演会 ・ サロン

講演会 自助・共助、助け合いのできるまちづくり、地域防災力の向上を目的としたテーマで、毎年、外部講師に招いて講演会を毎年開催しています。

サロン サロン型式を取り入れて、地域の課題やニーズを発掘したり、コミュニケーションを高めるために適宜開催します。出された意見はコミ協の活動に活かします。

サロン



サロンには児童生徒も参加

講演会



佐藤敏郎講師



横田能洋講師



鈴木里枝子講師

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

12

◆ 活動紹介【防犯防災部会】

防災訓練・資機材取り扱い訓練

防犯防災部会では

- 毎年防災訓練を実施します。訓練では、避難訓練、消火器訓練、煙体験、AED訓練など消防署の協力を得て行っています。炊き出し訓練では避難食などの試食をします。
- 防災資機材の取り扱い訓練では、非常照明やテントやトイレの組み立てなどの体験をします。
- また、消防署や市防災安全課と協力して、市が行う総合防災訓練に協力したり、意見交換会なども行っています。



避難訓練の様子 人員点呼・確認



消防士の指導で心臓マッサージやAED、消火活動の体験をします

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

13

◆ 活動紹介【役員会・防犯防災部会】

防災勉強会(避難所の運営、防災資機材・備蓄資材の取り扱いなどを学ぶ)

地域防災力の向上 自分たちの地域にある、防災の備蓄材や資機材の保管倉庫などを見学したり地域防災力の向上を目的として、取り扱い方法を学んでいます。また避難所の開設や運営についてをワークショップを通して学ぶなど、いざという時に地域で助け合いができるように勉強会も開催しています。勉強会には市職員、教職員も参加します。

防災倉庫の見学・資機材の取り扱い訓練



日本女子大学平田教授

避難所の運営（神栖避難所大学）



ワークショップによる避難所運営を討議

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

14

◇ 活動紹介【防犯防災部会】

朝のあいさつ、児童の交通安全・見守り活動

- コミ協**では 毎月1回、第3月曜日を「朝のあいさつ運動（7時20分～）」と「下校時の見守り活動（14時30分）」の日として定め、大野原小学校と大野原西小学校で行います。R5年4月から神栖第四中学校でも「あいさつ運動」を開始しました。また毎日の登下校時には、コミ協の会員や地域の協力者の方々も見守りを行っています。参加者・協力者はそれぞれの学校区で割り振っています。協力者は年々増加傾向にあります。



神栖四中学区地域コミュニティ協議会

15

◇ 活動紹介【防犯防災部会】

児童通学路の安全点検



現場を確認後は全員で検討会

通学路安全点検は、児童が日常通学する通学路の危険箇所を子ども目線でチェックした箇所を大人目線でも現場の状況を確認した後に検討会を行い、対策や措置方法などを協議します。（先生も参加）

- ・点検結果を纏めて行政や関係部署に要望を行う。
- ・交通安全マップを作成し、学校で危険箇所の周知を図る。
- ・改善を要する項目の中で、コミ協で実施可能なものについては、直接地域住民に改善を依頼する等の活動を行います。

◇これまでの実績

- ・H26年、H28年大野原小学校の通学路点検を実施。
- ・R2年は「学校安全総合支援事業」に参加し大野原西小学校区の通学路安全点検を実施。
- ・R7年度は大野原小学校の通学路安全点検を実施



神栖四中学区地域コミュニティ協議会

16

◇ 活動紹介【防犯防災部会・役員会】

交通安全標語コンクール・交通安全マナーアップ教室

コミ協では、児童の交通安全として交通マナーアップ教室や学校と連携して交通安全標語コンクールなどを開催し、児童の事故防止にも努めています。

- 交通安全標語コンクールの募集を行い、最優秀作品は横断幕を制作し、学校内または周辺に掲示するなどして、交通事故防止の啓発を行います。
- 交通安全マナーアップ教室は交通安全協会、茨城県トラック協会や運送事業者の協力を得て行なったりします。



交通安全マナーアップ教室



交通安全標語コンクール表彰・横断幕



神栖四中学区地域コミュニティ協議会

17

◇ 活動紹介【環境部会】

環境美化活動(学校清掃・街並み美化・フラワーロード花植え)

環境部会では、学校清掃、街並み美化活動、フラワーロードの花植えなど美化運動を実施しています。

「一番キレイな地域を目指そう」を目標に、自宅前や公園清掃、フラワーロードの花植え、学校清掃活動をコミ協、地域住民と一緒に取り組んでいます。

地域のみんなで協力し合う街並み美化清掃は、コミュニティの醸成に重要な活動行事です。花植え奉仕には教職員も積極的に参加するなど増加しています。



学校清掃



フラワーロード花植え



街並み美化活動

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

18

◇ 活動紹介 【広報交流部会】

地域交流イベント(春・夏のお楽しみ会・昔遊び体験など)

交流イベントは、夏休みや冬休みには開催する「お楽しみ会や昔遊び体験」は、コミュニティ協議会の中で一番大きな交流イベントです。イベントの実行に当たっては、PTAや子ども会、教職員、サポーター、ボランティアなどコミ協全員が協力して行います。
イベントには、300～350名ほどが参加します。(2021、2022年はコロナで中止)



35mの流しソーメン



スイカ割り長蛇の列



人形作りを教えてもらっています



スイカ とってもオイシイです！



めんこ遊び



餅つき大会 べったんこ！

神栖四中学区地域コミュニティ協議会

19

◇ 活動紹介 【広報交流部会】

地域交流イベント(春・夏のお楽しみ会・昔遊び体験など)

お楽しみ会 夏はスイカ割り、かき氷、流しソーメンなど大人も子どもたちも大好きです。冬は餅つき大会、昔遊びやゲームなどコミ協と子ども会がいろいろな遊びやゲームなど、みんなが手作りして工夫して楽しめます。
お楽しみ会などには、中学生もコミ協活動にボランティアとして参加しています。



神栖四中学区地域コミュニティ協議会

20

◇ 活動紹介【広報交流部会】

広報誌「コミ協だより」の発行

コミ協だよりの発行 コミュニティ協議会の広報誌として2回／年発行し情報を発信しています。平成25年1月に第1号を発行以来、これまでに24号を発行してきました。発行当初はA4判両面刷りでしたが、令和元年4月から四中学区地域コミュニティ協議会の発足により、第16号からA3判両面刷りとし紙面の拡充を図りました。

発行部数 2300枚（地域回覧、学校生徒へ配布、コミセンなど公共施設に配置）



神栖四中学区地域コミュニティ協議会

21

◇ 活動紹介【生涯学習部会】

生涯学習芸能発表会、輪投げ大会、スポーツ大会

文化体育部会では、コミュニティセンターを生涯学習の場として、利用登録団体や地域の方々に開放しています。芸能発表会やシニア輪投げ大会、スポーツ大会などを行い地域交流が図られるようコミュニティ協議会が運営を行います。

芸能発表会



スポーツ大会



シニア交流輪投げ大会



バレーボール大会



神栖四中学区地域コミュニティ協議会

22

9. 地域コミュニティ協議会

活動の成果・効果(評価)

- ◎地域コミュニティ協議会のモデル地域として活動を始めて13年。発足当初から協議会理念のもとに多岐に亘る幅広い活動を地域の方々と協力し前向きに取り組んできました。
- ◎地域活動の成果・効果(評価)を数値的に表すことは単純でなく難しいものですが、
「**毎年の活動を着実にやり遂げてきた努力と、その結果の積み重ねが13年に亘って現在も活動が継続していることこそが、協議会最大の成果**」と評価します。
- 協議会の設立により、地区や学校、PTAや子ども会組織に、コミュニティ協議会担当委員(役員)を配置することで、各地域に協議会への協力、支援体制の仕組みが確立され地域の枠を越えて、共通の認識を持つ人々とのつながりが生まれた。
- 協議会の設立により、様々な問題や課題を話し合える機会、共通の場所ができたことで地域、団体の枠を越えて課題解決に協力して取り組む、姿勢と力がついた。
- 朝のあいさつ運動や登下校見守り活動などには、協議会員だけでなく、地域の協力者も増えており、学校安全(交通事故防止・防犯活動)に大きく寄与している。
- 学校は「地域コミュニティ協議会との連携」をグランドデザインに掲げ、協議会の活動が、地域と学校の連携・協働に重要な役割を果たしている。
- 中学生が市民の一員であるという意識を持つとともに、コミ協活動にボランティアとして積極的に参加するようになった。
- 防災訓練や講演会、交流イベントには、多くの地域住民が参加。特にお楽しみ会や昔遊び体験などの交流イベントには、多くの子どもや大人が参加するなど、コミュニティの賑わいや繋がりが生まれている。
- 協議会の活動が外部機関に認められ受賞につながった。

10. 地域コミュニティ協議会

今後の取り組みとして

やって良かった！ やってて良かった！

- ようやく活動も安定し認められつつあるものの、まだまだ地域には十分に浸透、理解、認識されているとはいえず、地域活動の難しさを経験してきました。
しかし私たちは、これまでコミュニティ協議会活動を通して、多くのことを学び、自ら企画・実行し、様々なことを成し遂げてきました。そして重要な役割を持つ活動であることを参加された多くの方が認識し、共感してくたと思っています。
- コミュニティ協議会の活動は、「地域の課題は**住民相互が理解し合い**、自らの問題として**自主的に取り組み解決**すること」であり、コミュニティ協議会の命題として、これからもみんなが「持続可能なコミュニティ活動」を目指し、みんなで工夫し楽しく活動を続けていきたいと思います。

12. 受賞歴

◇ コミュニティ協議会の永年の活動が認められました

年 月	授賞機関	受賞理由
2015年4月	神栖市立大野原小学校 学校長表彰	感謝状 大野原地域のコミュニティの醸成、協働体制の構築と子供の育成に尽力した
2021年4月	市立大野原小学校 市立大野原西小学校 市立神栖第四中学校 3校長会連名表彰	感謝状 長年交通立哨や見守り活動を行い、児童生徒の交通事故防止に貢献した
2021年10月	茨城県警察 本部長・交通安全協会長 連名表彰	感謝状 長年に亘り、率先して立哨活動、見守り活動を実践し交通事故防止に多大なる貢献した
2022年5月	茨城県教育会	教育功績者表彰 あいさつ運動、通学路安全点検、奉仕活動の実践により、地域と学校が連携し、実践を通して健全な子どもたちの育成に尽力した
2022年10月	茨城県警察 本部長・防犯協会理事長 連名表彰	ボランティア団体表彰 地域安全活動を実践し、模範的な活動を推進し安全で安心なまちづくりに貢献した

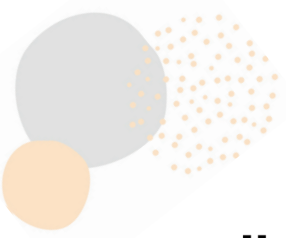
ご清聴ありがとうございました

神栖四中学区地域コミュニティ協議会



事務局

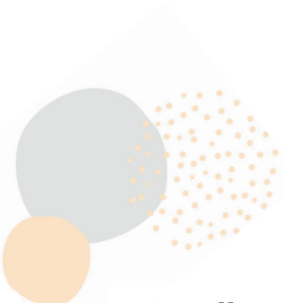
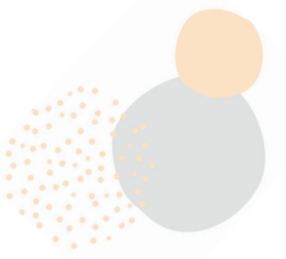
〒314-0144 茨城県神栖市大野原7-5-59
大野原コミュニティセンター内
TEL・FAX 0299-93-0008



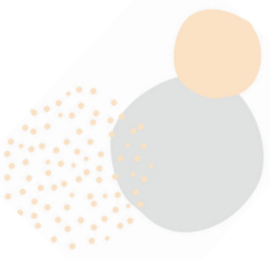
豊田地域コミュニティ協議会

会長 石塚 正明

令和7年12月6日



目次

- 01_ 豊田地域コミュニティ協議会の概要
 - 02_ 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会設立の経緯
 - 03_ 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会について
 - 04_ 試行的な活動
 - 05_ 豊田地域コミュニティ協議会について
 - 06_ 豊田地域コミュニティ協議会の活動
- 

01_ 豊田地域コミュニティ協議会の概要

発足日：令和7年6月8日

会員数：36名

会長：石塚 正明



組織体制

豊田地域コミュニティ協議会総会

役員会

事務局

総務
広報部会

防犯
防災・
環境
衛生部会

保健
福祉・
生涯
学習部会

02_ 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会設立の経緯

令和4・5年度
第1回～第3回
意見交換会



意見交換会で出た意見
どんなまちになってほしい？



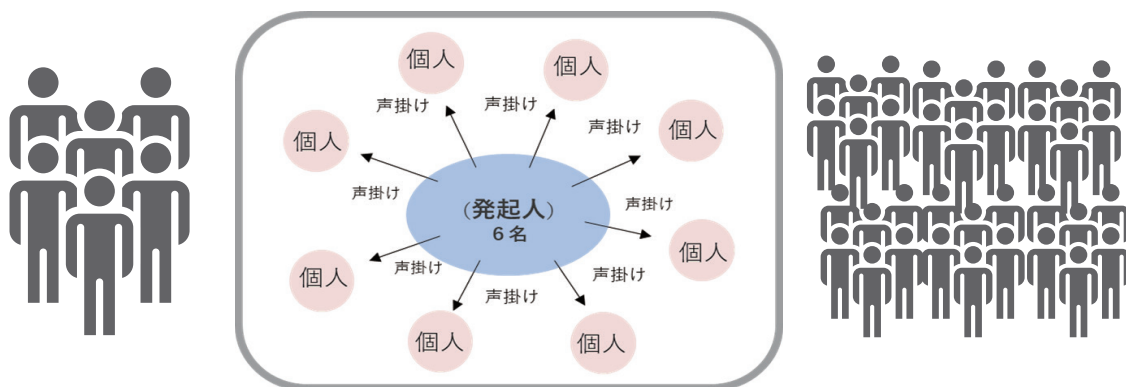
- ・災害に強いまち
- ・近所同士のつながりが強いまち
- ・親子が一緒に安心して住めるまち
- ・文化の香りが高いまち
- ・介護予防事業が充実したまち
- ・誰もが話し合える差別がないまち

意見交換会を通して「地域コミュニティ協議会」の必要性を強く感じた6名が発起人となり、検討会を開催

令和5・6年度
第1回～第8回
検討会

- ・準備委員会のメンバーの選出
- ・メンバーへの声掛けの手段（方法）
- ・準備委員会の名称・規約・事業計画書・予算書の検討
- ・上郷市街地活性化協議会との意見交換会

02_ 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会設立の経緯



発起人 6 名が地域住民に声掛け
「生まれ育った豊田のために活動しよう！」
「子どもや孫が安心安全に暮らせるまちを目指そう！」
発起人メンバーの想いが通じ、賛同を得る。
令和 6 年 7 月 28 日に 41 名で準備委員会設立

03_ 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会について

**地域コミュニティ協議会の設立に向けて役員会や総会を開催し
何度も話し合いを重ねました**

- 組織の規約や部会体制の検討
- 事業計画、予算書の検討
- 役員の選出
- 試行的な活動について



04_ 試行的な活動

事業名：桜まつりin豊田
日時：令和7年3月29日、30日

目的

- ・ 地域住民へコミュニティ協議会の周知
- ・ 豊田地域住民の機運を高める
- ・ 地域の活性化と住民との交流を深める

イベント前には
環境美化活動として
準備委員会メンバーで
ゴミ拾い活動を行いました



役割分担

イベント担当

会場設営
備品担当

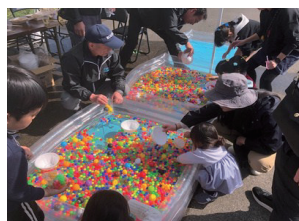
総務・広報担当



04_ 試行的な活動

桜・菜の花鑑賞
桜のライトアップ、
ペットボトルらんたんロード
(豊田小学校児童 作成)
防災士による講話
スーパーボールすくい
琴の演奏
キッチンカー

事業内容



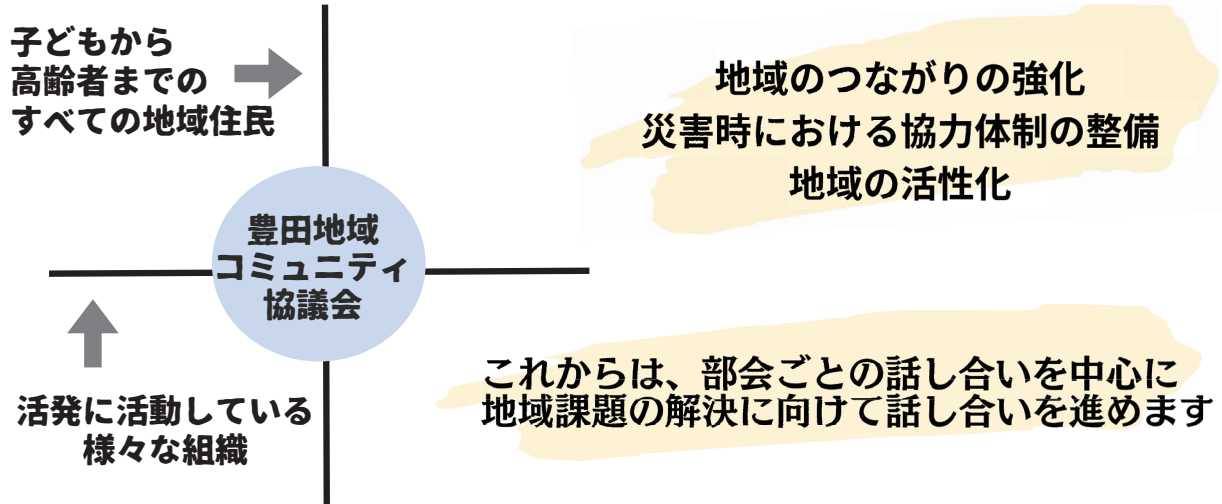
～効果～

- ・ 地域の絆がより強まった
- ・ 普段顔を合わせない人と話すことができた
- ・ 協議会を設立してもっと仲間を増やしていきたい

本協議会の設立に向けて、
メンバーや組織体制について
話し合いを継続

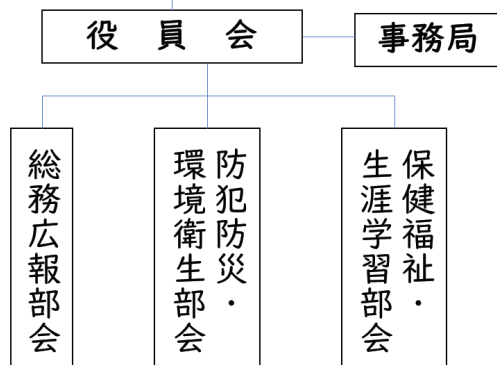
05_ 豊田地域コミュニティ協議会について

豊田地域に住むすべての住民が誰一人取り残されないように
より住みやすく 住み続けられる豊田地域を目指して



06_ 豊田地域コミュニティ協議会の活動

豊田地域コミュニティ協議会総会



10月
「豊コミ通信」発行



暮らす、つながる、助け合う

地域のつながりを強化して、住みやすく、災害に強い地域づくり



会長 石塚 正明

豊田地域に暮らす人たちが、自主的、主体的に様々な活動をしていくことで、地域の運営を深めることができます。また、地域が抱える課題をみんなで解決していくことで、豊田地域が活性化していきます。安心して住みやすい地域にするために、ぜひ私たちと一緒に活動しましょう。

06_ 豊田地域コミュニティ協議会の活動

豊田地域コミュニティ協議会総会

役員会

事務局

総務広報部会

環境衛生部会

防犯防災・

生涯学習部会

保健福祉・



11/15
防災訓練



06_ 豊田地域コミュニティ協議会の活動

豊田地域コミュニティ協議会総会

役員会

事務局

総務広報部会

環境衛生部会

防犯防災・

生涯学習部会

保健福祉・

10/12
豊田の歴史講演会





菅生・大塚戸 地域コミュニティ協議会 準備委員会



副会長 小林 隆志
令和7年12月6日

目次

- 
- 01_ 菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会
準備委員会について
 - 02_ 実施事業
 - ① 地域コミュニティ協議会周知事業
(チラシ作成・配布)
 - ② 菅生小学校資源回収支援事業
 - 03_ 今後の展望
- 

01_ 菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会 準備委員会の概要

設立日：令和7年5月20日

委員数：17名

会長：大滝 文雄



地域全体・全世代の課題等を偏りなく察知・対応かつ自治区長会をはじめとする地域団体との連携がとれる組織体制（みんなで・つなぐ・つながる）を意識した委員構成

委員構成のポイント

- 幅広い世代（子育て世代・中間世代・高齢世代）
- 男女間の構成比率
- 菅生・大塚戸地域の全地域を網羅
- 自治区長等の地域団体関係者



02_ 実施事業

①地域コミュニティ協議会周知事業 （活動周知チラシの作成・配布）





少子高齢化と人口減少の時代、
菅生・大塚戸のこれからのために
今わたしたちにできることは？

菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会準備委員会

チラシ作成概要

構成 A 3両面二つ折り
作成部数 1, 200部
配付方法 広報紙等の配布と併せて各戸配布

- ・自治区加入世帯は[自治区長の協力](#)により配布
- ・自治区未加入世帯は[地域の方の協力](#)で手渡し
- ・[地域のコンビニ](#)に設置

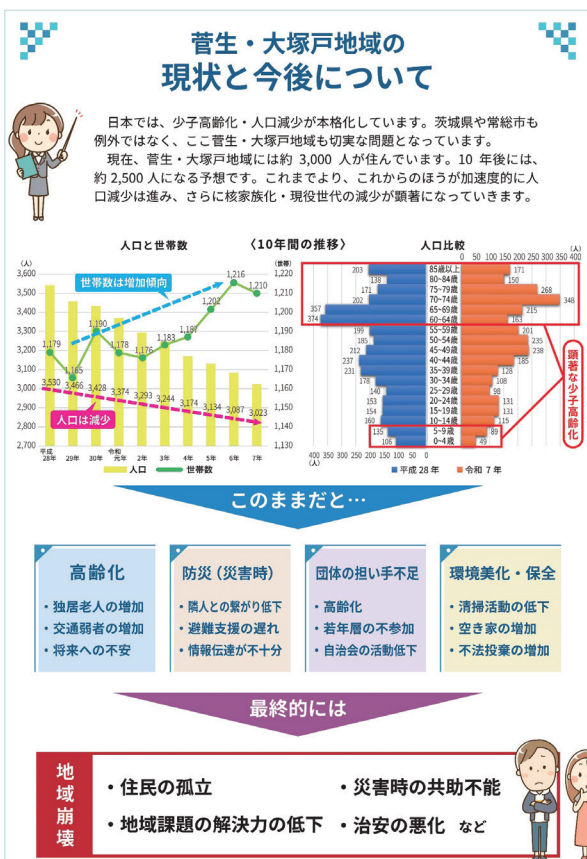


1 ページ目（表紙）



みんなでつなぐ、つながる
ふるさとの未来

今わたしたちにできることは？

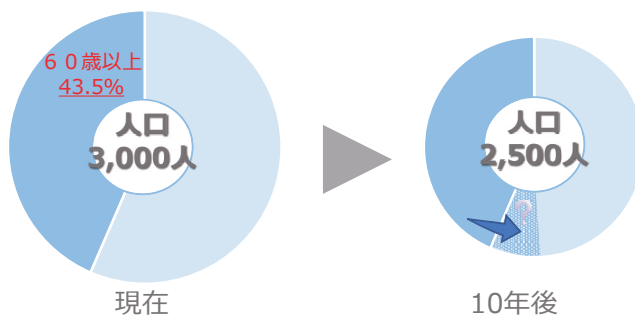


2 ページ目



人口減少・少子高齢化って言うけれど、菅生・大塚戸地域ではどうなの？

！ 今後10年間で人口はさらに500人減少の見込み



最終的には地域崩壊の可能性も…

地域の崩壊を防ぎ、維持・活性化に繋げるために・・・
持続可能な **地域コミュニティ協議会** の設立・運営

地域コミュニティ協議会とは

地域の情報を共有し、地域の課題について話し合い、解決に向けて活動する新しい組織です。

- 活動の趣旨
- ✓ 地域の課題解決、活性化につながる活動の実施 **困りごと対応**
 - ✓ 地域住民・団体・事業者同士の対話の場づくり **つながり作り**
 - ✓ 各種団体の活動支援 **連携、負担軽減、活動の効率化**

具体的な活動例

子どもたちへの支援

- ・資源回収の手伝い
- ・登下校の見守り
- ・小学校の環境整備手伝い



高齢者への支援

- ・独居老人の見守り
- ・病院、スーパー等への移動支援 (交通弱者対策)



各種団体への支援

- ・各事業、イベントへの協力
- ・団体間の調整、連絡



住民同士のつながり作り

- ・ふれあい、話し合いの場づくり
- ・三世代交流イベントの実施



これまでの経緯

令和4年から令和6年まで、2年間かけて全5回の意見交換会を実施してきました。その後、有志による検討会を5回ほど重ね、今年度から準備委員会が立ち上がりました。毎月1回を目途に、菅生公民館で話し合いを行っています。

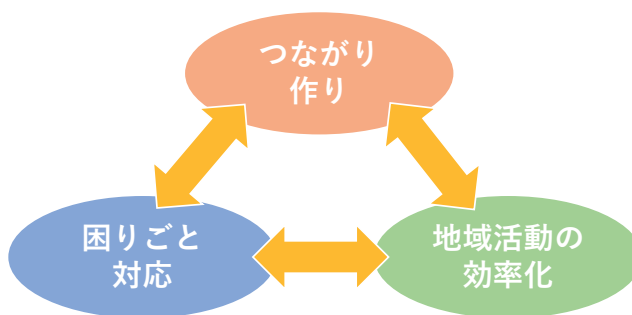


詳しくはこちら

3 ページ目

地域コミュニティ協議会って何をするの？

地域の情報・課題を共有し、解決に向けた活動を行います



準備委員会の最初の地域支援として
菅生小学校 資源回収をお手伝いします



今年の資源回収は、菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会準備委員会が全面的にお手伝いします。地域の宝である子どもたちが楽しく学習できる環境を整備するとともに、この活動を通して地域のつながり作りを醸成するきっかけにしたいと思います。



令和7年11月9日(日)

※少雨決行、荒天の場合は11月30日に延期します



詳細は、後日小学校から配布される通知文をご確認ください。

菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会の
今後の予定

- 令和7年10月 第6回準備委員会 (資源回収の進め方)
- 11月 第7回準備委員会 (地域ビジョンの検討)
- 11月9日 菅生小資源回収実施
- 12月 第8回準備委員会 (地域ビジョンの策定)
- 令和8年1月 第9回準備委員会 (コミュニティ協議会の規約・役員の設定)
- 2月 第10回準備委員会 (来年度の事業計画・予算の設定)
- 3月 第11回準備委員会 (協議会設立準備)
- 春頃 菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会(仮称)設立
菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会設立総会

菅生・大塚戸地域
コミュニティ協議会準備委員会
委員名簿

No.	氏名	地区	役職
1	梁谷 歩美	樽井	会計
2	栗原 百合子	下香	
3	大滝 文雄	下香	会長
4	渋谷 幸恵	下香	
5	倉持 繁夫	下香	監事
6	清野 真	大並	
7	鈴木 典子	中郷	
8	倉持 愛子	平松	会計
9	田島 由香里	平松	
10	清野 君子	古谷	
11	戸嶋 幹夫	上野	
12	茂木 寛	上野	事務局
13	佐賀 直人	上野	事務局
14	横島 弘幸	越込	副会長
15	糸賀 達	松山	
16	八幡 香織	新田	監事
17	小林 隆志	徳山	副会長

菅生・大塚戸地域を愛し、住みやすいまちにするために、

ぜひ一緒に活動しましょう♪



4 ページ目 (背表紙)

地域コミュニティ協議会設立に向けた試行的な活動の実施

！ 菅生小学校資源回収支援
“児童、保護者世代”と“地域”の新たな交流が生まれることで、地域コミュニティ協議会設立の機運を醸成する
※詳細は事業② (次ページ以降)



事業を経て、
地域コミュニティ協議会の設立へ

一緒に活動してくれる仲間を募集しています！

02_ 実施事業

② 菅生小学校資源回収支援事業

日にち：令和7年11月9日（日）

天気： 



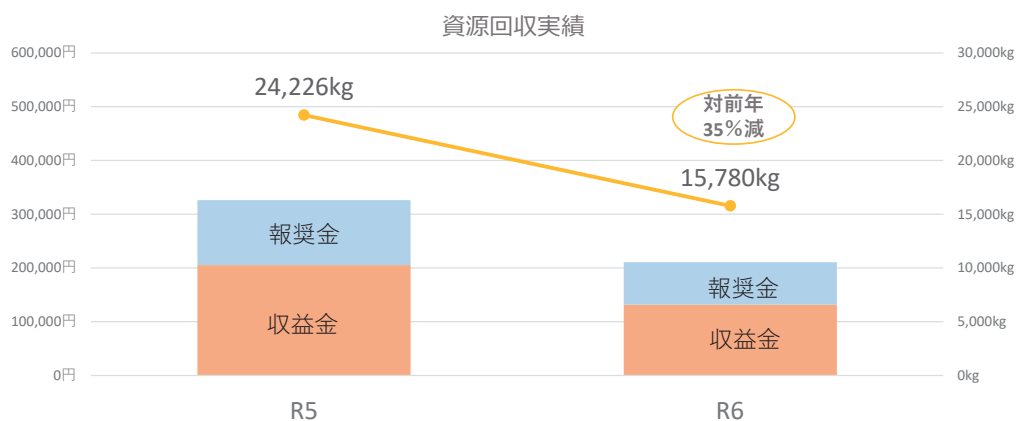
きっかけ 

学校・PTAの“悩み”

- ❗ 軽トラ保有世帯が少ない
このままでは資源回収を継続できない…
収益金はこどもたちの学習環境の向上に活用…



- ❗ 地域コミュニティ協議会準備委員会に“相談”
地域全体で学校・PTAを支援してみよう！





実施体制



共催 菅生小学校
菅生小学校 P T A
地域コミュニティ協議会準備委員会
協力 自治区長を中心とした地域の方々
地域で活動する各種団体の方々（※1）

※1_各種団体

- ①里地里山保全むくのき会
- ②菅生大塚戸子供会
- ③交通安全母の会
- ④青少年育成常総市民会議
- ⑤シルバー会
- ⑥防犯協会
- ⑦地域女性連絡協議会
- ⑧交通安全協会
- ⑨消防団
- ⑩公民館長



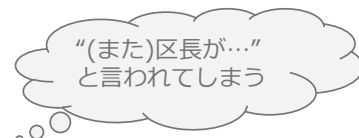
準備委員会で実施したこと



・説明会の開催

自治区長、各種団体への資源回収協力要請
（いただいた意見）

まずは各世帯に地域コミュニティ協議会の活動を周知して欲しい



・チラシ作成・配布

事業①のとおり

・自治区長へ改めて協力要請

自治区長が自治区内の軽トラ貸出協力者、作業補助員を選出

・車両借上料の支払い、協力員の傷害保険加入

市補助金を活用



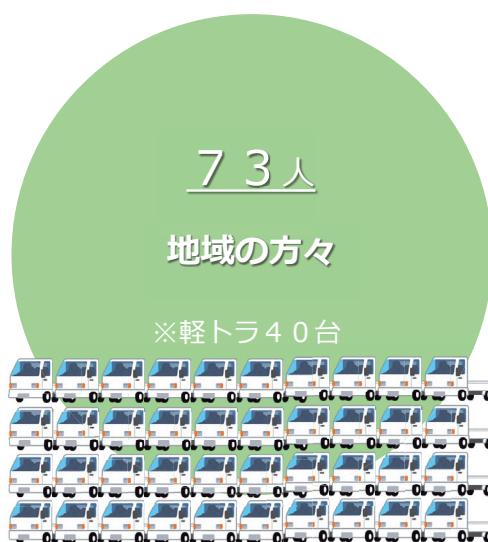
当日参加者



集積所での積込

調整役

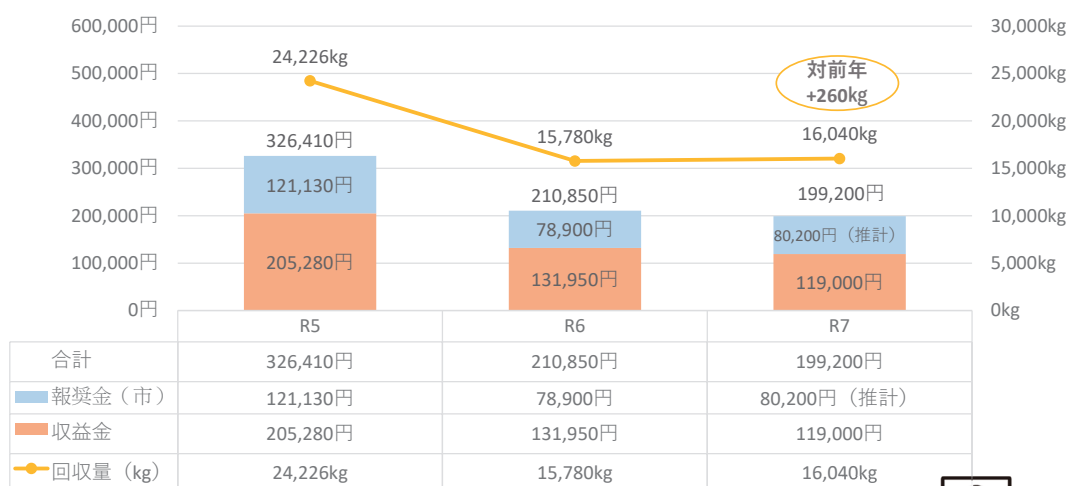
戸別回収・集積所までの運搬



総勢 132人



回収実績



収益金の活用



体育館で利用する大型モニターを購入予定
今後の地域学習の中でも活用していきたい





資源回収ふりかえり

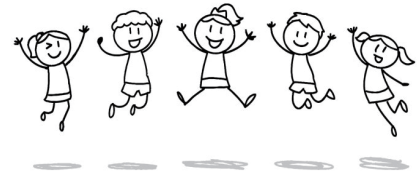


活動を通じて

-  学校・PTAが抱えていた課題解決につながった
-  資源回収（戸別回収）をしながら見守り活動にもつながった
-  ふだん話す機会のない人と会話ができた

持続可能な活動とするためには？

-  一部の方（自治区長）に頼りすぎない、地域全体で取り組める体制づくり
-  団体同士がお互いに協力できる体制づくり



03_ 今後の展望



少子高齢化と人口減少の時代、
菅生・大塚戸のこれからのために
今わたしたちにできることは？

菅生・大塚戸地域コミュニティ協議会準備委員会

資源回収

みんなでつなぐ = 学校・PTA・地域が
協力・連携することで
つなぐ = 活動を継続できた

地域の未来・子どもたちのために
今わたしたちにできることは？

“悩み”を“相談・解決”できる
“場所”づくり

**菅生・大塚戸地域
コミュニティ協議会**

令和8年春の設立を目指したい

おわり

